がん原性試験に係るフィージビリティーテスト対象物質の選定における 専門家からの意見聴取 (エキスパートジャッジメント) の結果等 (その2)

整理	優先的に試験	理由	性状
番号	すべき物質名		(参考)
B 1	N, N'-ジフェニル -1, 4-フェニレンジア ミン	このままでは反応性はないが、代謝により下記のような、平面構造で DNA に親和性のあるキノンイミン型反応性代謝物が生ずる可能性がある(パラ位水酸化 2 回および酸化)。	微粉末
B 2	3,3' - ジ メ チ ル -4,4' -ビフェニレン ジイソシアネート	反応性官能基(イソシアネート基)を一分子中に2個有しており、平面構造はとりにくいと思われるものの、2つの芳香環も存在するのでDNAと親和性を持つ可能性がある。Bifunctionalな反応性を有するものはDNA障害性が高い。	固体
В3	硫酸パラジメチルアミ ノフェニルジアゾニウ ムナトリウム	細胞膜を効率良く透過するか否かが不明であるが、反応性が極めて高く DNA 障害性が強いと考えられる。	固体